緊急 斑点米カメムシ多発！今すぐ除草しよう！

5/21 病害虫発生予察情報では斑点米カメムシはやや多と予想されています。

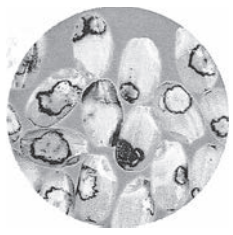
本田薬剤防除だけでは、斑点米の発生を防げません。
6月～7月上旬にかけ、雑草地の除草を徹底しましょう！

効果的な防除で斑点米発生を防止しよう！

着色粒による検査規格（目安）

1,000 粒中

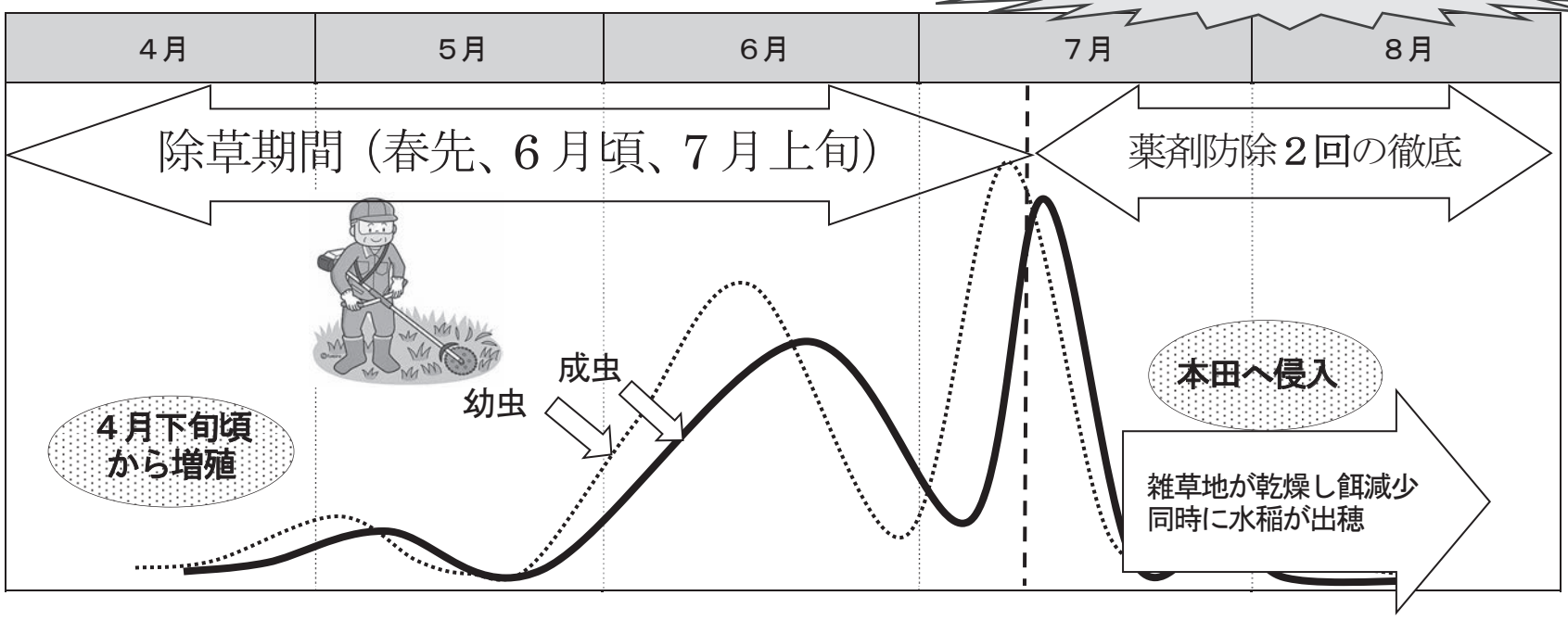
２～３粒混入	⇒	２等
４～７粒混入	⇒	３等
８粒以上混入	⇒	規格外



1．　６月頃の除草+７月上旬の仕上げ除草の実施
2．　出穂期の畦畔除草はしない！（畦畔にいるカメムシが本田に侵入するため）
3．　出穂後の防除の徹底
※地域ぐるみの一斉防除を実施しましょう。
※暗色米等の着色粒の防止のため、ほ場周辺に枯草が無い状態を保ちましょう。

図. 斑点米カメムシ類　雑草地の発生消長

暖冬によりカメムシが年々増加しています



主な畦畔用除草剤の特徴

農薬登録上、除草剤ごとに定められた使用する量や回数、時期についてラベルをよく確認し使用する。

剤名	抑草期間	難防除雑草への効果				本剤の使用回数	散布後の降雨（目安）	特徴および注意点
		スギナ	イボクサ	キシュウスズメノヒエ	オオアレチノギク			
ラウンドアップマックスロード	50～60日	△（25倍◎）	○	○	×（10℃以下○）	3回以内	1時間	・根まで枯らすので効果が持続する ・25倍液希釈ならスギナの根絶が可能 ・オオアレチノギク対策として、バスタとの混用が可能（低温時の処理で根まで枯らすことができる）
サンダーボルト007	50～60日	△	○	○	○	2回以内	3時間	・根まで枯らす成分と速効性の成分の混合除草剤 ・オオアレチノギク含め広範囲の雑草に効果が高い ・スギナ対策には、2,4-Dアミン塩等との混用がおすすめ
バスタ液剤	40～50日	○	○	○	○	2回以内	6時間	・畦畔に有効（畦が崩れない） ・広範囲の難防除雑草に効果が高い ・雑草全体に十分量散布する ・オオアレチノギクは草丈が小さいうち(30cm以内)に散布
プリグロックスL	20～30日	○（25倍◎）	○	○	○	5回以内	15分	・散布後1日で効果が出て、低温でも効果が安定 ・薬剤がかかった部分のみ枯れるため作物に安心

カメムシが好む雑草種

初夏～夏

・ナギナタガヤ
・エノコログサ
・メヒシバ
・ヒエ類　など

★左記除草剤に「ダイロンゾル」を混用すると、雑草の発生をより長い期間抑草できます。
※違った作物が隣接する場合には、両方に登録のある除草剤を使用して下さい。
※除草剤散布の際は、使用基準を守り、風向きに注意するなど周辺作物に農薬が飛散しないように充分に注意すること。

（参考）管内に多く生息する斑点米カメムシ類

カメムシの写真：石川県病害虫診断防除ハンドブックより

	アカヒゲホソミドリカスミカメ	アカスジカスミカメ	トゲシラホシカメムシ	ホソハリカメムシ
形態	 ○ 体長：5～6mm ○ 緑色で赤いヒゲが特徴 ○ 飛翔性	 ○ 体長：4.6～6mm ○ 黄緑色で背中の赤いスジ ○ 飛翔性	 ○ 体長：4.5～7mm ○ 淡褐色で黒い点刻あり ○ 歩行性	 ○ 体長：8.5～11mm ○ 黄褐色で肩の先端が尖る ○ 飛翔性

除草を徹底し、斑点米の発生を防ぎましょう！

保護眼鏡、長靴、長袖、長ズボン等、服装で身を守ろう。

農作業時の熱中症予防チェックシート

熱中症が原因でめまいなどを起こし、
トラクター転倒などの重大事故につながることもあります！
下記の項目をチェックして、熱中症に注意しましょう！

□ 天気や気温を確認しましたか？

出かける前にかならず天気予報を確認しましょう。急に暑くなる日は
熱中症の危険が高くなります。梅雨明け直後は要注意です。
風が弱い日や、湿度が高い日は熱中症にかかりやすくなります。

□ 体調は万全ですか？

体調不良（二日酔い・寝不足・風邪気味）の時は熱中症の危険度が増します。

□ 朝ごはんは食べましたか？

朝食で取るべき栄養分と水分をきちんと取りましょう。

□ 涼しい服装を選んでいますか？

服装は、日差しを遮り、汗を逃がしやすいものを着ましょう。
吸汗・速乾性に優れた素材の服がオススメです。

□ 日差しを遮る帽子はありますか？

つばの広い帽子をかぶり、直射日光を遮りましょう。

□ 飲み物は持ちましたか？

水分補給をこまめにとりましょう。
特に高齢者は水分不足や暑さを感じにくくなっているため、喉が渇く前に
積極的に給水しましょう。大量に汗をかく場合は、塩分も補いましょう。

□ 二人以上での作業ですか？

一人で作業中に熱中症になると、助けてくれる人がおらず重症化する
おそれがあります。できる限り二人以上で作業をし、体調不良時は
我慢せず不調を伝えましょう。

□ 作業場所は熱がこもりませんか？

ハウスや畜舎など気温が上昇しやすい施設内での作業は、風通しをよくしましょう。
室内の換気をして、熱がこもらないようにしましょう。

□ 作業計画に無理はありませんか？

涼しい時間帯に作業をしましょう。もし暑い時間帯に作業するときは、
休憩をこまめに、作業時間を短くなどの工夫を。

□ 緊急連絡先を知っていますか？

いざというときのため、緊急連絡先を持ち歩きましょう。
具合が悪くなったら無理せず、医療機関にかかりましょう。

農林水産省 生産局 技術普及課　０３－３５０２－８１１１（内線：４７７４）